

マーケットの動き（2025年6月2日～6月6日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で上昇（円安）しました。

週前半は、米中の関税問題の懸念が高まったことや、5月の米国ISM非製造業景況指数およびADP雇用統計が市場予想を下回ったことなどが嫌気され、円が買われ米ドルが売られました。後半は、米中関税問題の懸念後退や、5月の米雇用統計が市場予想を上回ったことなどが好感され、米ドルは対円で上昇して週を終えました。

ユーロは前週末比、対円・対米ドルで上昇しました。

投資環境見通し（2025年6月）

円に対して米ドルは弱含み、ユーロはレンジ内での動き

米ドル：基軸通貨としての位置付けは続くと思われますが、米国における債務問題やスタグフレーション（経済活動の停滞と物価の持続的な上昇が併存する状態）に対する懸念がドルの下押し圧力とみられ、ドルは円に対してレンジ内で弱含むとみています。

ユーロ：米国の関税政策や債務問題を受けた海外投資家による資産の一部引き揚げの動きがドル安ユーロ高の要因とみられますが、一方でECB（欧州中央銀行）の利下げ姿勢とユーロを巡る強弱材料が交錯する中、ユーロは円に対してレンジ内で推移するとみています。

	6月6日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	144.93	0.64	2.09	▲4.96	▲11.09
ユーロ/円	165.06	1.25	3.04	6.72	▲4.66

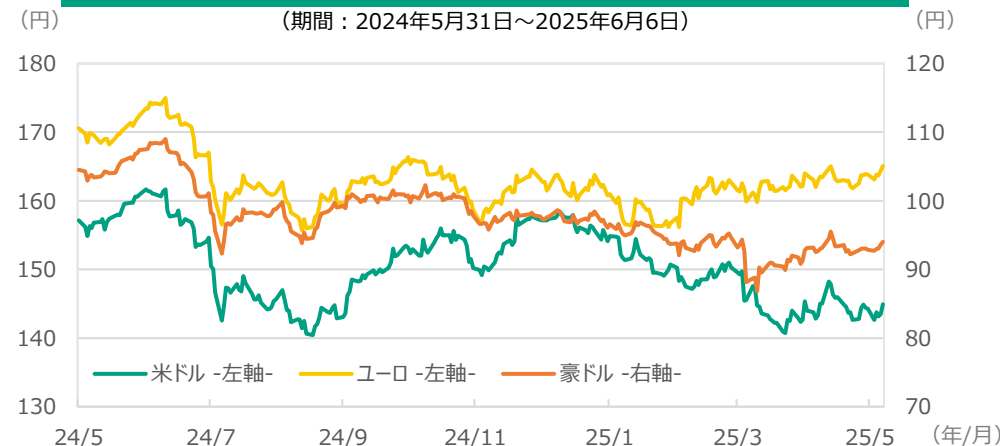
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202506_outlook.pdf

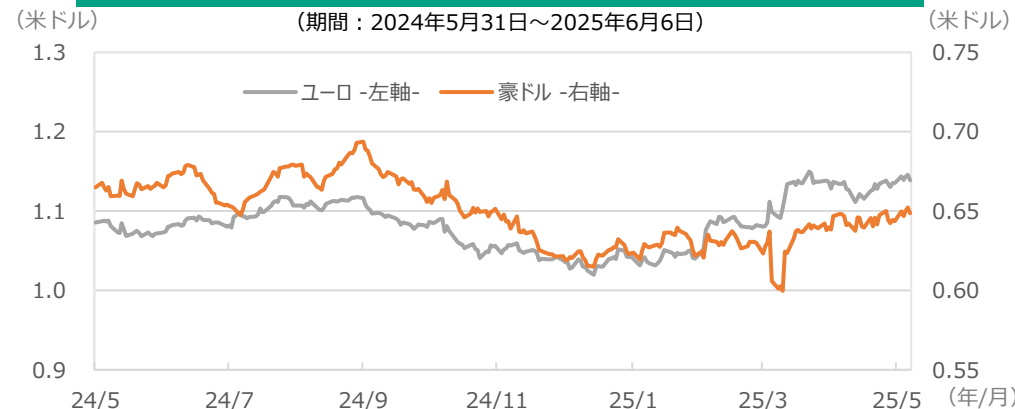
為替レートの推移（対日本円）

（期間：2024年5月31日～2025年6月6日）



為替レートの推移（対米ドル）

（期間：2024年5月31日～2025年6月6日）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>